

滋賀県内には多様な種類の博物館があります。その開設の歴史を辿ってみると、当初は私立の博物館が多かったことに気づきます。近江商人をテーマとする博物館や「城」の語を館名に含んだ博物館がいくつもあることも特徴です。

## 1. 目的と歴史

滋賀県博物館協議会(以下、県博協)は、県内の博物館施設が集まって構成している任意団体です。その目的のひとつは、相互に連絡をすることで円滑な運営を目指すこと。もうひとつは、その活動を通じて県民文化の振興に寄与することです。

現在の県博協は1982年に創設されました。ただ、実はそれよりも前の1969年に前身とも言える組織が生まれています。13館程度で発足し情報交換などをしていましたが数年後に自然消滅しまったそうです。2024年11月現在、加盟館は70あります。

## 2. 時代背景

滋賀県における博物館および類似施設の開設時期を年表にしてみると、1970年代から1990年代にかけて数が多いことがわかります。全国的には、高度経済成長期に土地の開発がなされていくなかで、文化遺産を保存する気運が高まったことがあります。1977年には文化庁が「市町村立歴史民俗資料館の設置・運営のあり方」と題した指針を示してもいます。滋賀県の場合は、1972年に県が策定した「文化の幹線計画」も大きな意味を持っていたと考えられます。

## 3. 中心の不在

他の府県では、その県で一番大きい博物館(往々にして府立・県立の歴史系の博物館)が協議会の事務局を担うことが多いです。しかし滋賀県の場合、事務局を担う館が決まっておらず、数年おきに変わっています。このように中心が存在しないことも、県の中心に琵琶湖がある滋賀県らしいと言えるかもしれません。

表2-14-1 滋賀県内における博物館開設の歴史

明治21(1888)年	滋賀県物産蒐集場
明治31(1898)年	蒐集場が滋賀県物産陳列場に改称
明治36(1903)年	陳列場が三井寺下(長等)に移転
大正10(1921)年	陳列場が滋賀県商品陳列場に改称/鐘秀館(財団法人下郷共済会)
昭和 7(1932)年	商品陳列場が滋賀県物産販売幹旋場に改称
昭和23(1948)年	滋賀県立産業文化館(場所は県庁横にあった旧武徳殿)
昭和25(1950)年	滋賀大学経済研究所に史料館設立(現・滋賀大学経済学部附属史料館)
昭和28(1953)年	宝厳寺宝物殿/布施美術館
昭和29(1954)年	開成館(滋賀県立産業文化館の別館)
昭和30(1955)年	甲賀流忍術屋敷(この頃より内部公開)/井伊美術館/滋賀県立産業文化館が武徳殿を返還し、滋賀会館の一部に移転する
昭和35(1960)年	開国記念館
昭和36(1961)年	滋賀県立琵琶湖文化館(滋賀県立産業文化館を前身とする)
昭和38(1963)年	近江神宮時計博物館/田上鉱物博物館/鶏足寺己高閣



昭和39(1964)年	セリん館(後に移築され、浅井町歴史民俗資料館を構成)
昭和40(1965)年	宗教法人 義仲寺
昭和43(1968)年	豊会館／比叡山秘宝館
昭和44(1969)年	田上郷土史料館(真光寺内)
昭和45(1970)年	大津市立科学館(現・大津市科学館)／滋賀県立近江風土記の丘資料館
昭和46(1971)年	石山寺豊浄殿／大津絵美術館(圓滿院内)
昭和49(1974)年	近江八幡市立資料館
昭和50(1975)年	白谷荘民俗資料館・西近江学校歴史史料館(現・白谷荘歴史民俗博物館)／滋賀県立長浜文化芸術会館(現・長浜文化芸術会館)／建部大社宝物殿
昭和52(1977)年	木下美術館／信楽伝統産業会館
昭和53(1978)年	川口織物 金剛苑
昭和54(1979)年	滋賀県立安曇川文化芸術会館(現・藤樹の里文化芸術会館)／財団法人 近江商人郷土館／近江八幡市立資料館内に歴史民俗資料館が開設
昭和55(1980)年	多賀町立歴史民俗資料館／甲賀歴史民俗資料館(油日神社)／五個荘町歴史民俗資料館(近江商人屋敷藤井彦四郎邸)／國友鉄砲鍛冶資料館／守山市立埋蔵文化財センター／糸取り資料保存館／滋賀県埋蔵文化財センター
昭和56(1981)年	滋賀県立八日市文化芸術会館(現・八日市文化芸術会館)／高島町歴史民俗資料館(後に高島歴史民俗資料館)／近江日野商人館／木地屋民芸品展示資料館(木地師資料館)
昭和57(1982)年	湖東町歴史民俗資料館
昭和58(1983)年	長浜城歴史博物館／鉄道資料館(旧長浜駅舎)／滋賀県立水口文化芸術会館(現・甲賀市あいこうか市民ホール)／甲賀忍術博物館／朽木村郷土資料館(後に朽木資料館)
昭和59(1984)年	水口町立歴史民俗資料館(現・甲賀市水口歴史民俗資料館)／滋賀県立近代美術館(現・滋賀県立美術館)／高月観音の里歴史民俗資料館／東アジア交流ハウス・雨森芳洲庵
昭和60(1985)年	石部町歴史民俗資料館(現・東海道石部宿歴史民俗資料館)
昭和62(1987)年	彦根城博物館／膳所焼美術館／ダイニク・アストロパーク天究館／国友鉄砲の里資料館(国友鉄砲ミュージアム)
昭和63(1988)年	野洲町立歴史民俗資料館(現・野洲町立歴史民俗博物館 通称「銅鐸博物館」)／湖北野鳥センター／近江聖人 中江藤樹記念館／滋賀県立草津文化芸術会館(後にしが県民芸術創造館)／石橋幸子美術館／滋賀サファリ博物館
平成 1(1989)年	中仙道守山宿 郷土人形館／新旭町水鳥観察センター(現・高島市新旭水鳥観察センター)／鷗足寺世代閣
平成 2(1990)年	滋賀県立陶芸の森／栗東歴史民俗博物館／大津市歴史博物館／守山市ほたるの森資料館
平成 3(1991)年	世界風博物館 八日市大風会館(現・世界風博物館 東近江大風会館)／信楽古陶館／大津祭曳山展示館／水口城資料館／甲賀市甲南ふれあいの館
平成 4(1992)年	滋賀県立安土城考古博物館(滋賀県立近江風土記の丘資料館の役割を引き継ぐ)／比叡山国宝殿／日登美術館／水のめぐみ館 アクア琵琶
平成 5(1993)年	マキノ町郷土文化保存伝習施設(後にマキノ資料館)／多賀町立博物館／滋賀県立水環境科学館
平成 6(1994)年	秦荘町歴史文化資料館(現・愛荘町立歴史文化博物館)／土山町立歴史民俗資料館(現・甲賀市土山歴史民俗資料館)／西堀栄三郎記念 探検の殿堂
平成 7(1995)年	お市の里 浅井町歴史民俗資料館(現・浅井歴史民俗資料館)／大津市立長等創作展示館・三橋節子美術館／かわらミュージアム／観峰館
平成 8(1996)年	滋賀県立琵琶湖博物館／近江商人博物館／草津市立水生植物公園みずの森／草津宿本陣
平成 9(1997)年	琵琶湖水鳥・湿地センター／MIHO MUSEUM／能登川町総合文化情報センター
平成10(1998)年	佐川美術館／米原市柏原宿歴史館／伊吹山文化資料館／成田美術館／冷水寺胎内伝資料館／琵琶湖周航の歌資料館
平成11(1999)年	草津市立草津宿街道交流館／多賀町立博物館
平成12(2000)年	愛知川びんてまりの館／米原市雁雁宿資料館／長浜市曳山博物館／長浜鉄道文化館
平成13(2001)年	みなくち子どもの森自然館
平成14(2002)年	醒井木彫美術館
平成15(2003)年	北陸線電化記念館
平成16(2004)年	伊香立「香の里史料館」／ボーダレス・アートギャラリー-NO-MA(現・ボーダレス・アートミュージアムNO-MA)
平成18(2006)年	県立の文化芸術会館が、滋賀県から各市に管理が移管される／渡来人歴史館
平成19(2007)年	小谷城戦国歴史資料館
平成22(2010)年	甲賀市くすり学習館
平成24(2012)年	滋賀県平和祈念館／中山道守山宿 町家 うの家(守山市歴史文化まちづくり館)
平成25(2013)年	ヤンマーミュージアム
平成27(2015)年	菩提寺歴史文化資料室／近江日野商人ふるさと館「旧山中正吉邸」
平成28(2016)年	中路融人記念館
令和 5(2023)年	マーチャントミュージアム 教林坊別院

注記 すでに閉館、廃館しているものも含めている。

大角家住宅(旧中散本舗)はいつから公開しているか不明であるため、本年表には含めていない。

滋賀県立美術館 保坂 健二郎